

# 与論町庁舎建設検討委員会 会議録

会議名	第4回与論町庁舎建設検討委員会
会議の日時	平成26年12月4日 午後6時～午後7時
会議の場所	庁舎3階 委員会室
議長	委員長（副町長） 川上 政雄
説明者	事務局（総務企画課 係長）龍野 勝志
書記	事務局（総務企画課 主幹兼係長）野口 芳徳
出席者	18人（別紙出欠簿のとおり）

## <会次第>

- 1 開会、2 委員長あいさつ、3 議事、4 閉会

## <配布資料>

- 1 第3回会議録
- 2 視察報告書（天城町）
- 3 視察報告書（喜界町）
- 4 新庁舎建設候補地エリアの検討
- 5 原野及び雑種地分布図

## ■議事1

議題	天城町及び喜界町視察報告について
内容	（事務局）視察に行った各委員からの視察報告書を取りまとめて報告。
結論	報告書内容を了承

## ■議事2

議題	新庁舎建設候補地の検討（各エリアごと）
内容	（事務局）各エリアの選定の考え方、評価指標の設定及び判定方法について配布資料4及び5に基づき説明。 （委員）各エリアは具体的にどの辺りになりますか。 （事務局）エリアAは現庁舎のことです。エリアBの「茶花市街地郊外（北側）」は図書館の北側から創価学会池田会館の手前までの範囲です。エリアCの「砂美地来館周辺」は福祉センターから派出所辺りまでの範囲です。エリアDの「与論高校周辺」は与論高校から谷山建材店辺りまでの範囲です。エリアEの「中央公民館周辺」は保健センターから茶花小辺りまでの範囲です。

	<p>(委員長) 建設候補地のエリア選定については、この5か所のエリアで検討を行うこととしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員) 異議なし。</p> <p>(委員) 各エリアを評価指標に基づき評価した結果、自分が最も良いと思うエリアの点数が最高点とならない場合も出てくると思うが、その時はどうしたらいいでしょうか。</p> <p>(事務局) 自分が最も良いと思うエリアの点数が最高点となるよう判定を調整していただいて結構です。ただ、今回の評価は、それぞれの評価指標の重要度がすべて同じレベルだと仮定していますが、実際には評価指標の重要度は異なってくると思います。評価指標の重要度による傾斜配分については、今後検討していきたいと思います。</p> <p>(委員) 今回の評価で建設候補地エリアを絞り込むのですか。</p> <p>(事務局) いいえ。まだ建設候補地エリアを絞り込めるだけの十分な材料が有りませんので無理だと思います。とりあえず現時点での委員の皆様のだいたいの考えで各エリアの評価をしてみてください。</p> <p>(委員) 提出期限はいつですか。</p> <p>(事務局) 次の会の時に評価用紙を提出してください。</p> <p>(委員長) 配布資料4の5「これまでの検討会から見えてきたこと」について意見がありましたらお願いします。</p> <p>(委員) 住民説明会はいつ開きますか。</p> <p>(事務局) 新年度に入って、ある程度建設候補地が絞り込まれてきてからの開催となると思います。</p> <p>(委員) 平成27年度中に基本構想及び基本計画を策定するスケジュールで了承。</p>
結論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設候補地エリアとして5つのエリアで検討を行う。</li> <li>・ 各エリアの評価を行い次の会に提出する。</li> <li>・ 基本構想及び基本計画は平成27年度までに策定する。</li> </ul>

### ■議事3（その他）

議題	第3回会議録の確認・了承について
内容	<p>(事務局) 第3回会議録の確認をお願いします。</p> <p>(委員) 会議録の内容を了承。</p>
結論	第3回会議録を与論町ホームページで公表することとする。

## 第4回与論町庁舎建設検討委員会出欠簿

No.	職 名	氏 名	H26.12.4
			出 欠
1	茶花自治公民館長	山本 池富	○
2	立長自治公民館長	原 栄徳	○
3	城自治公民館長	川畑 俊光	○
4	朝戸自治公民館長	池田 吉光	○
5	西区自治公民館長	内野 豊信	○
6	古里自治公民館長	与田 豊和	×
7	叶自治公民館長	原田 新一郎	○
8	那間自治公民館長	山下 健勇	×
9	地域女性団体連絡協議会長	高田 りえ子	×
10	連合青年団長	山口 政治	○
11	壮年会連絡協議会長	富士川 浩通	○
12	あまみ農業協同組合 与論事業本部 専務理事	竹井 富雄	×
13	与論町漁業協同組合 代表理事組合長	酒勺 兼峯	○
14	商工会長	増尾 英機	○
15	ヨロン島観光協会長	田畑 克夫	○
16	体育協会長	高井 克彦	○
17	文化協会長	徳田 泰三	×
18	消防団長	野本 勝彦	○
19	社会福祉協議会長	大田 元茂	○
20	鹿児島県交通安全協会 与論地区協会長	竹村 英吉	○
21	町PTA連絡協議会長	沖 道春	×
22	副町長	川上 政雄	○
23	教育長	町岡 光弘	×
24	総務企画課長(事務局長を兼務)	沖野 一雄	○
25	町民福祉課長	酒勺 徳雄	×
26	商工観光課長	富士川 浩康	○
		出席者の計	18

No.	事務局	氏 名	出欠
1	事務局長(総務企画課長)	沖野 一雄	○
2	事務局(担当:総務企画課 係長)	龍野 勝志	○
3	事務局(副担当:総務企画課主幹兼係長)	野口 芳徳	○

平成26年12月4日  
庁舎3階 委員会室  
午後6時～午後7時30分

## 第4回与論町庁舎建設検討委員会

### 会 次 第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
  - (1) 天城町及び喜界町視察報告について
  - (2) 新庁舎建設候補地の検討（各エリアごと）
  - (3) その他
- 4 閉会

<配布資料>	ページ
・第3回会議録	1～4
・視察報告書（天城町）	5～12
・視察報告書（喜界町）	13～20
・新庁舎建設候補地エリアの検討	21～22
・候補地エリア図	23
・原野及び雑種地分布図	24

# 与論町庁舎建設検討委員会 会議録

会議名	第3回与論町庁舎建設検討委員会
会議の日時	平成26年9月2日 午後6時～午後7時20分
会議の場所	防災センター1階 会議室
議長	委員長（副町長） 川上 政雄
説明者	事務局（総務企画課 係長）龍野 勝志
出席者	14人（別紙出欠簿のとおり）

## <会次第>

- 1 開会、2 委員長あいさつ、3 議事、4 閉会

## <配布資料>

- 1 第2回会議録
- 2 新庁舎整備に係る概算事業費
- 3 概算事業費の財源内訳
- 4 地方債取扱い上の標準的な庁舎面積と単価
- 5 現庁舎の平面図
- 6 仮設庁舎（案）の平面図・立面図・断面図
- 7 1階平屋建ての庁舎（案）平面図
- 8 人口推計（平成21年度与論町人口推計調査）
- 9 与論町各集落の人口（平成16年度～平成25年度）
- 10 庁舎建設基本構想等における基本理念及び基本方針の事例
- 11 新役場庁舎建設に関するアンケート調査の集計結果の抜粋
- 12 第5次与論町総合振興計画の概要版（冊子）

## ■議事1

議題	新庁舎整備に係る概算事業費について
内容	<p>（事務局）配布資料2～7で新庁舎整備に係る概算事業費を、①現在地に庁舎を新築した場合、②現在地から庁舎を移転し町有地に新築した場合、③現在地から庁舎を移転し新たに用地を取得し新築した場合の3パターンを想定して事業費を試算したことや、その財源内訳について説明。</p> <p>（委員長）事務局説明や配布資料について質問等がありましたらお願いします。</p> <p>（委員）用地購入費はパターン3のみに計上されていますが、パターン2やパターン1には必要ないのでしょうか。新庁舎建設や駐車場に必要な面積が確保でき</p>

る町有地があるのでしょうか。条件を一緒にした方が比較できるのではないのでしょうか。

(事務局) 具体的な移転場所を想定しているわけではありませんのでこのような試算になりました。実際には、駐車場の面積まで考えると適当な町有地は無いのではないかと思います。また、パターン1の仮設庁舎の建設場所についても、適当な町有地があるものとして試算していますが、場合によっては仮設庁舎の建設用地も購入または賃借しなければならないケースもあるかと思えます。

(委員) 工事単価が1階平屋と3階建てで同じ設定になっていますが、実際は異なるのではないのでしょうか。

(委員長) 3階建ての方が単価は高くなると思えます。

(委員) 事業費からみても移転した方がいいと思えるので、建設場所をどこにするか早く決めてはどうでしょうか。このままでは何も決められないのではないのでしょうか。

(委員長) 資料3の概算事業費の財源内訳にもありますとおり、今はまだ相当財源が不足しており、少なくともあと2～3年は庁舎建設基金の積立が必要な状況にあります。それまでにまだ時間がありますので、事業費だけでなく、まちづくりの観点など、様々な角度から十分な検討を行っていただきたいと思えます。よろしくをお願いします。

(委員) 公共施設が比較的多く集まっている場所に庁舎も移転すれば、お互いの施設が有効活用され利便性も高くなるのではないのでしょうか。

(委員) 建設場所については島の断層のことも考慮する必要があると思えます。

(委員) 建設場所については、ある程度時間をかけていろいろと十分に検討を行ったうえで決めていかないと、後でいろいろと問題が出てくる可能性があると思えます。

(委員) 庁舎が移転した場合に、商店街へどれくらいの経済的影響があるかななどを調査できないのでしょうか。

(委員長) 商店街から離れたところに庁舎を移転した市町村を視察し、商店街への影響などをヒアリングすることも検討したいと思えます。

(委員) 現在地に今の庁舎と同じような構造や機能の庁舎を建てるということは、安心・安全のまちづくりという面から見たとき、適切でないということは、一つの結論として出してもいいのではないのでしょうか。

(事務局) パターン1の試算は、あくまでも現在の庁舎と同じ程度の庁舎を建設した場合の試算であって、津波災害などを想定し、土台を嵩上げしたり建物の強度を増したりした場合は、さらに事業費は増えると思えます。

(委員) この委員会の一番の使命は、新庁舎の建設場所を十分に検討したうえで、建設候補地を選定して町長に提言することだと思えます。これから50年10

	<p>0年先の将来の与論町を見据えて様々な角度から検討して結論を導き出して いかなければならないと思います。</p> <p>(委員) 今回の会は、前の会の時に事業費の試算をして欲しいという意見を受けて、 今回の会の内容になったと思いますが、次の会では何について話し合うつもり ですか。</p> <p>(事務局) 次の会では、建設候補地としていくつかエリアを選定して提示しますの で、各エリアについていろいろな角度から建設地としての適否を検討してい た だきたいと考えています。</p>
結論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の会では、新庁舎の建設場所として何ヵ所かエリアを選定し、いろいろな角度 から検討を行うこととする。</li> <li>・ 役場が移転することによる商店街への影響について、視察等を行い調査検討する こととする。</li> </ul>

#### ■議事2

議題	新庁舎の基本理念と基本方針について
内容	(事務局) 基本理念や基本方針については、今後の本委員会での議論が進められる 中で、これからの与論町における役場のあるべき姿というものも考えながら決 めていけたらと思います。
結論	特になし。

#### ■議事3 (その他)

議題	第2回会議録の確認・了承について
内容	(事務局) 第2回会議録の確認をお願いします。 (委員) 会議録の内容を了承。
結論	第1回及び第2回の会議録を与論町ホームページで公表することとする。

### 第3回与論町庁舎建設検討委員会出欠簿

No.	職 名	氏 名	H26.9.2
			出 欠
1	茶花自治公民館長	山本 池富	○
2	立長自治公民館長	原 栄徳	○
3	城自治公民館長	川畑 俊光	○
4	朝戸自治公民館長	池田 吉光	×
5	西区自治公民館長	内野 豊信	○
6	古里自治公民館長	与田 豊和	×
7	叶自治公民館長	原田 新一郎	○
8	那間自治公民館長	山下 健勇	×
9	地域女性団体連絡協議会長	高田 りえ子	×
10	連合青年団長	山口 政治	×
11	壮年会連絡協議会長	富士川 浩通	×
12	あまみ農業協同組合 与論事業本部 専務理事	竹井 富雄	×
13	与論町漁業協同組合 代表理事組合長	酒勺 兼峯	○
14	商工会長	増尾 英機	×
15	ヨロン島観光協会長	田畑 克夫	○
16	体育協会長	高井 克彦	×
17	文化協会長	徳田 泰三	○
18	消防団長	野本 勝彦	○
19	社会福祉協議会長	大田 元茂	○
20	鹿児島県交通安全協会 与論地区協会長	竹村 英吉	×
21	町PTA連絡協議会長	沖 道春	×
22	副町長	川上 政雄	○
23	教育長	町岡 光弘	○
24	総務企画課長(事務局長を兼務)	沖野 一雄	○
25	町民福祉課長	酒勺 徳雄	×
26	商工観光課長	富士川 浩康	○
		出席者の計	14

No.	事務局	氏 名	出欠
1	事務局長(総務企画課長)	沖野 一雄	○
2	事務局(担当:総務企画課 係長)	龍野 勝志	○
3	事務局(副担当:総務企画課主幹兼係長)	野口 芳徳	×



平成26年度与論町庁舎建設検討委員会先進地視察報告書

視察先	天城町役場、天城町商工会
視察者	委員長 川上政雄、委員 内野豊信、委員 酒匂兼峯、委員 田畑克夫 委員 山口政治、委員 富士川浩康
視察目的	庁舎が商店街から離れた場所に移転した場合の商店街やまちづくりに及ぼす影響について調査することを主な目的とする。
視察日程	11月10日(月) 与論町発 → 徳島町着(船) 11月11日(火) 天城町役場訪問 9:30~11:00 西之原総務課長、埴商工水産課長対応 天城町商工会訪問 13:30~14:30 柏木会長、神田副会長、徳永経営指導員対応 11月12日(水) 徳之島町発 → 与論町着(船)
天城町役場庁舎の概要	平成6年に新庁舎(4階建て、昇降機有り)を開庁。 平土野市街地から高台へ移転。 総事業費約21億円(うち庁舎建設基金約10億円) 昭和52年天城町庁舎建設基金条例制定、昭和62年庁舎建設委員会設置、平成4年庁舎位置条例の変更を提案し否決されたが平成5年に可決、平成5年新庁舎起工、平成6年落成。
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎移転の必要性として、庁舎の老朽化、事務スペースの手狭、駐車場不足、敷地不足等があった。</li> <li>・庁舎移転については、敷地の狭さや車社会への対応などを考慮して移転を提案し、役場周辺の商店の反対や議会での否決もあったが、最終的に可決された。</li> <li>・平土野地区商店街の活性化策として、プレミアム商品券の発行(年300万円補助)や大型クルーズ船の平土野港寄港誘致に取り組んでいる。</li> <li>・商店街の衰退の要因として庁舎移転よりも南西製糖工場の撤退の方が大きく影響している。また、車社会が進展する中、顧客は、駐車場のある大型店舗に流出している。</li> <li>・新庁舎になって役場職員はほとんど車通勤となり、昼食等による飲食店の利用減少は顕著である。</li> </ul>
所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場庁舎は、町民全体の利便性と車社会を考慮し、安心安全な防災拠点施設となる位置に建設することが大事だと感じた。</li> <li>・商店街活性化の対策も必要であるが商店街の自助努力が何よりも大切だと感じた。</li> <li>・庁舎の老朽化や駐車場不足など旧天城町庁舎と同様な問題があり、庁舎移転についての議論が必要だと感じた。</li> <li>・庁舎移転の際は、庁舎跡地利用計画や地元商店街の理解の得られる街づくりが必要であろう。</li> <li>・新庁舎は身の丈に合った規模としランニングコストを考慮した設計にすべきだと感じた。</li> <li>・移転となった場合は、跡地は、町民や観光客の憩いの場又はイベント広場など人々が集まれる場所となるよう提案したい。</li> <li>・老朽化による危険性、防災面、敷地の狭さ、建設費用などを考えれば、やはり移転して新たに建設せざるを得ないと思われる。</li> </ul>



天城町役場 正面



役場から市街地を望む



駐車場



多目的ホール



議長・副議長室

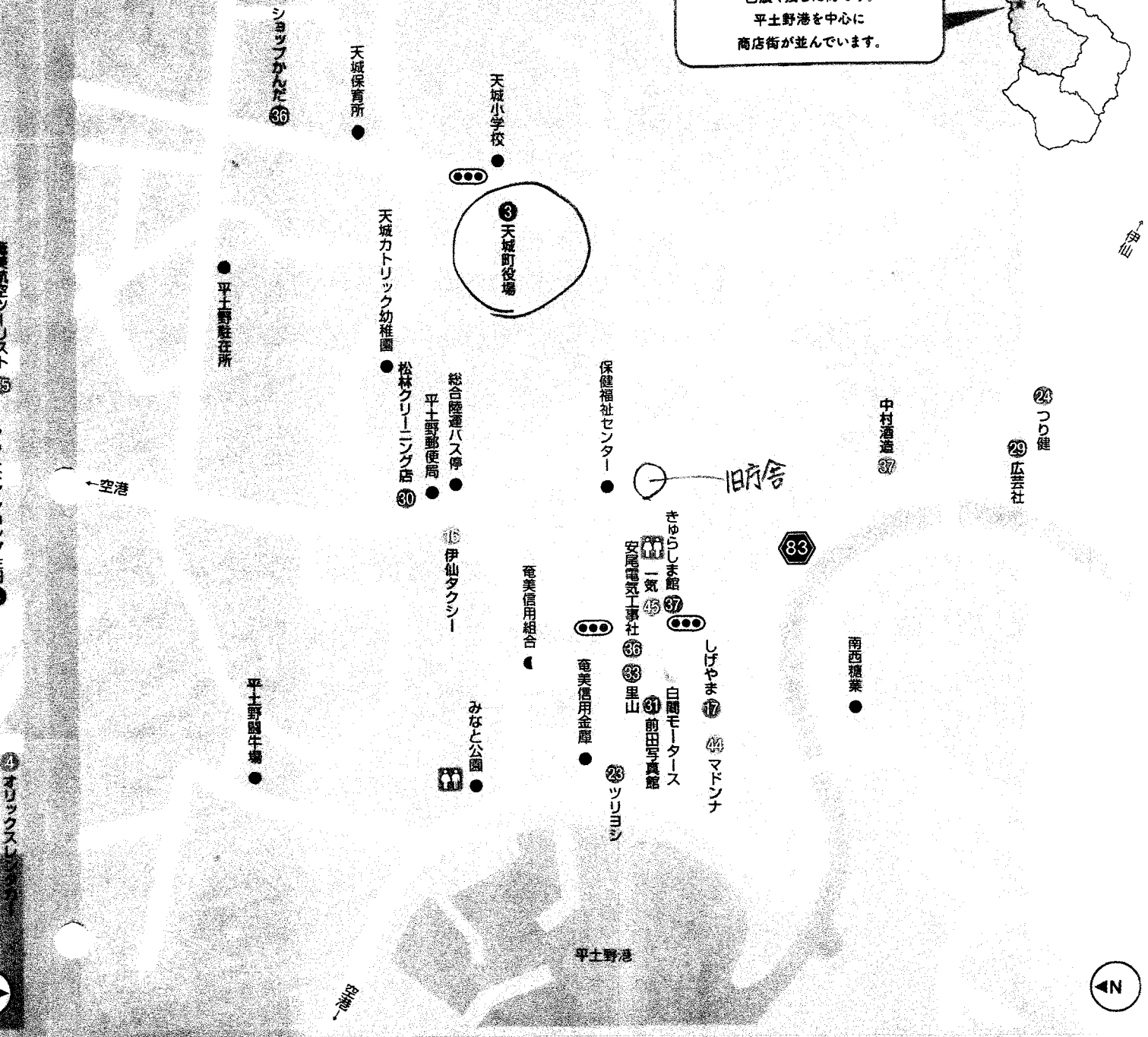
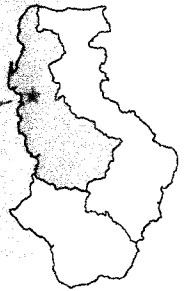


議員控室

# HETONOMAP

## AMAGI-CHO

**平土野**  
昔ながらの港町の雰囲気  
色濃く残した街です。  
平土野港を中心に  
商店街が並んでいます。

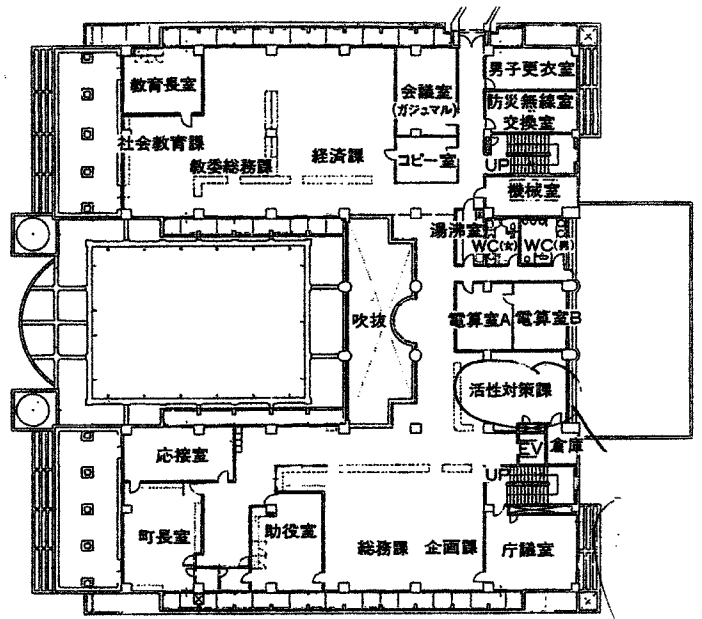
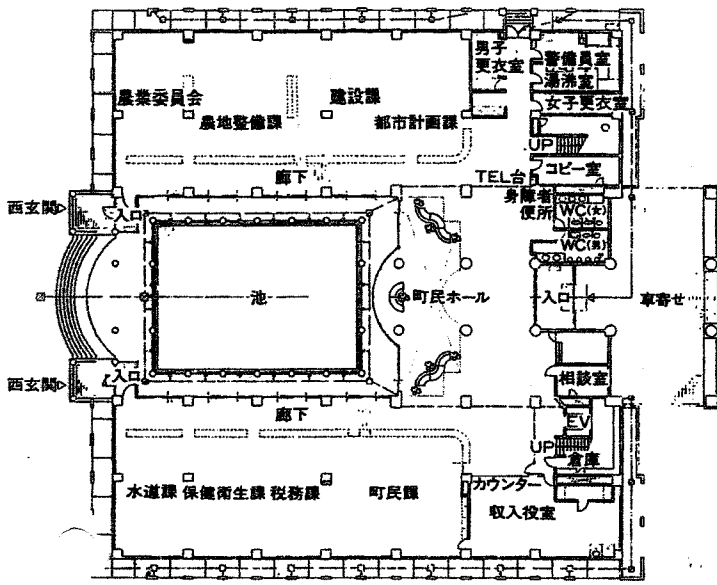


# 庁舎概要

所 在	大島郡天城町平土野2691番地1		
敷 地 面 積	11,541.00 m <sup>2</sup>		
構 造	本 庁 舎	鉄筋コンクリート造り4階建	
	別 館	鉄筋コンクリート造り2階建	
建 築 面 積	本 庁 舎	1,953.79 m <sup>2</sup>	
	別 館	330.47 m <sup>2</sup>	
床 面 積	本 庁 舎	1 階	4,186.17 m <sup>2</sup>
		2 階	1,405.78 m <sup>2</sup>
		3 階	1,172.87 m <sup>2</sup>
		4 階	1,031.18 m <sup>2</sup>
		そ の 他	474.82 m <sup>2</sup>
	別 館	101.52 m <sup>2</sup>	620.05 m <sup>2</sup>
	1 階	289.18 m <sup>2</sup>	2 階
総 合 計	4,806.22 m <sup>2</sup>		
工 期	平成5年10月17日～平成6年11月15日(継続事業)		
設 計 ・ 監 理	創建築設計研究所		
施 工 業 者	淵上建設工業(株)・(有)前田建設・建設工事共同企業体		
本体建設工事費	1,364,750 千円		
設計監理費	61,105 千円		
周辺整備費	285,101 千円		
用地費	273,584 千円		
備品購入費	149,435 千円		
そ の 他	6,513 千円		
総事業費	2,140,488 千円		
財 源 内 訳	庁舎建設基金積立金	1,057,155 千円	
	地 方 債	768,500 千円	
	一 般 財 源	314,833 千円	

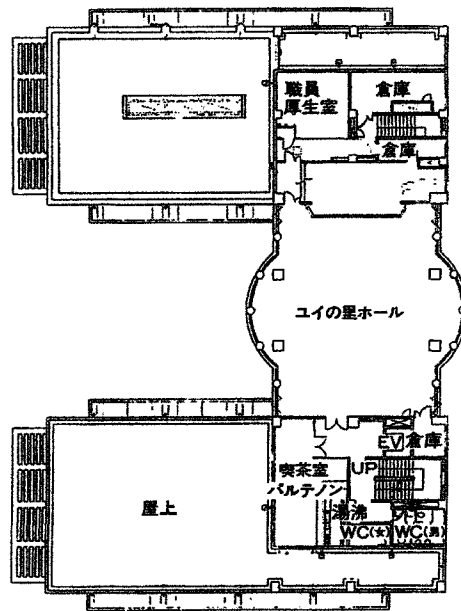
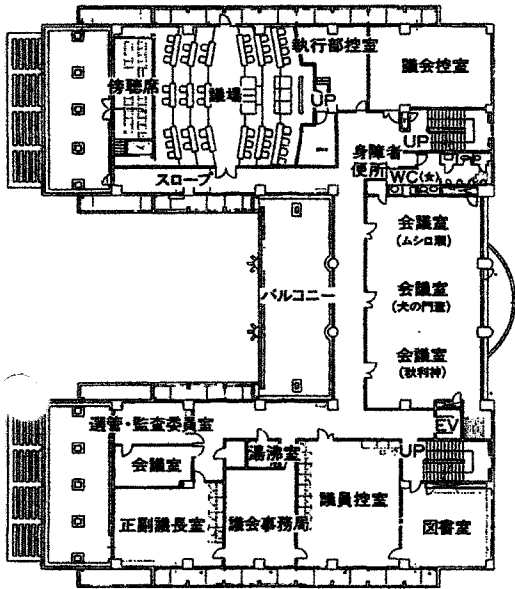
1F

2F

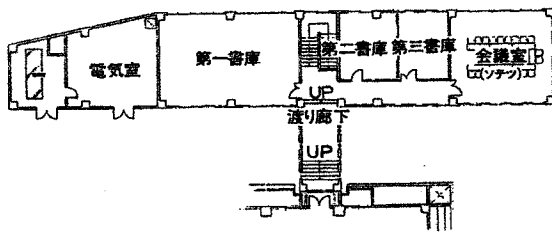


3F

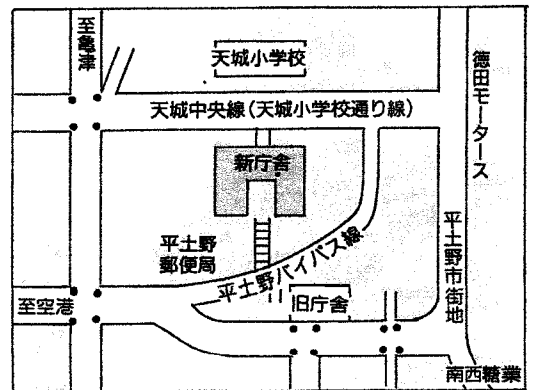
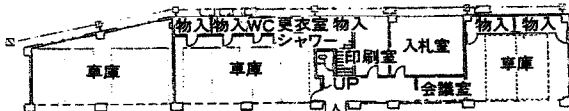
4F



2F



1F



新所在地  
 ☎891-76 天城町大字平土野2691番地1  
 (新所在地は、平成6年12月1日から適用されます。)

別館

## 庁舎建設にいたる経緯

- 昭和52年 3月16日 天城町庁舎建設基金条例制定✓
- 昭和61年 12月27日 庁舎建設を公約した寿町長就任
- 昭和62年 10月29日 天城町役場庁舎建設委員会設置条例制定
- 昭和63年 1月 6日 天城町役場庁舎建設委員会発足✓  
(委員長に福沢久範氏就任)
- 昭和63年 1月12日 庁舎建設委員及び全議会議員による先進地視察
- 昭和63年 5月29日 平土野集落に庁舎移転反対の看板が掲示される
- 昭和63年 12月12日 庁舎建設委員会より天城町新庁舎建設予定地の第1候補案に重田建設隣地(天城小学校前)が答申される
- 平成 2年 12月27日 寿町長・第2期目就任
- 平成 3年 12月 5日 平土野区民に対し天城町役場庁舎建設説明会
- 平成 3年 12月20日 議会に庁舎建設及び地域活性化対策調査特別委員会設置  
(委員長に前田英忠氏就任)
- 平成 4年 10月12日 9月議会に役場位置条例の変更を提案  
賛成13:反対7で否決  
(特別議会で3分の2以上の賛成が必要なため)
- 平成 5年 4月 7日 臨時議会に於いて位置条例の変更を提案  
賛成14:反対6で可決
- 平成 5年 6月30日 新庁舎建設設計監理業務委託契約(創建築計画研究所)
- 平成 5年 10月14日 新庁舎工事請負契約  
(瀧上建設工業(株)・(有)前田建設・共同企業体)
- 平成 5年 10月17日 新庁舎起工式
- 平成 6年 11月23日 新庁舎落成式

## ●「庁舎ができるまで」

平土野の高台に大きく美しい建物がありません。

見る人によっては「たかが役場」、診る人によっては「されど役場」、とさまざまな感慨、見方があることでありましょう。

私にとっては、この庁舎建設は、政治生命とひきかえに取り組んできた、苦悩苦汁に満ちた事業でありました。8年前、ふるさとに帰ってきて町長選を前に、<sup>9</sup>今日、天城町が抱えている最大の懸案事項は何か」とお聞きしたところ、多くの方々が「それは役場建設である。昭和20年代に建てられた現在の役場は、狭く、暗く、建物にガタがきて危険だ。一日も早く建てかえるべし」とのお話だった。そこで、公約にも掲げて、いざ取りかかってみると、移転反対運動、議会否決などさまざまな出来事に見舞われてしまいました。

それにもかかわらず、ここに完成をみることができました。

8年もの長期の歳月を要した点は、私の力不足で申しわけなかったのですが、一方、この間あらゆる角度から論議を重ねてきた結果、平土野市街地から新庁舎前に新しい道路の建設や天城集落の区画整理が決まるなど、次々と、将来展望の開けるアイデア・事業も生まれてまいりました。

もとよりここまでこぎつけるには、議会議員、この位置を答申した庁舎建設委員、郷友会員、地主、施工業者、そして直接業務に係わった役場職員など、多くの方々のご理解とご尽力があったればこそであります。この場を借りて心から厚く御礼申し上げます。

## ●「庁舎のコンセプト」

### 第1点 「町民のためのものでなければならない」

町民全体の利便性に資し、車社会に対応するため、位置は町の中心部とし、駐車場の確保を行う。従来、別々にあった議事堂、教育委員会も一カ所に集め、内部は、間仕切りのないオープンフロア方式として、訪れた町民が一目瞭然で業務内容がわかるようにした。更に、身障者・お年寄りのための工夫もこらす。

### 第2点 「町民の融和のためのシンボルである」

天城町は、「古きよき美風・ユイの里への回帰と広く新しき世界への雄飛」を謳っているが、この庁舎の存在そのものも、対立相克をこえて心をつなげて大きな目標に向かってゆくシンボルとして役立てたい。そのためには敷地も一定の広さを取り、地元産のコーラルリーフをふんだんに用いるなど、島の自然を取入れつつ、異国情緒あふれる高いドームのある建造物として。

### 第3点 「職員が効率的に仕事ができる庁舎である」

過疎化から脱却し、明日の徳之島をつくることの一翼を担っている役場職員が生甲斐をもって、積極的に仕事に取り組める執務環境づくりを意図した。電算システムや、福利厚生のためのスペース確保を図り、更に居住性への配慮なども行った。

●「おわりに」

新庁舎の誕生によって、「仏作って魂入れず」即ち、建物ばかりが目立って仕事の中身が伴わないといった愚をおかさないようにし、そして、いやしくも地域的に又は財政的にひずみを生じさせるようなことがあってはならず、むしろ天城町民の心の安らぎと、地域の発展に大きく寄与する拠点に仕上げてまいりたい。

町民のみなさまにおかれましては、一層の叱咤激励を私どもに賜りますよう切にお願い申し上げます、庁舎落成のごあいさつとさせていただきます。



平成26年度与論町庁舎建設検討委員会先進地視察報告書

視察先	喜界町役場、喜界町商工会
視察者	委員 山本池富、委員 原田新一郎、委員 増尾英機、委員 野本勝彦 委員（事務局長）沖野一雄、事務局 龍野勝志
視察目的	庁舎が商店街から離れた場所に移転した場合の商店街やまちづくりに及ぼす影響について調査することを主な目的とする。
視察日程	11月10日（月） 与論町発 → 喜界町着（空） 11月11日（火） 喜界町役場訪問 9:30～11:00 隈崎総務課長、夏目総務課主査対応 喜界町商工会訪問 13:30～14:30 豊岡会長、朝崎副会長、基・牛鼻経営指導員対応 11月12日（水） 喜界町発 → 与論町着（空）
喜界町役場庁舎の概要	平成18年に新庁舎（2階建て、昇降機有り）を開庁。 湾市街地の旧庁舎（海拔5m）から500m程離れた中学校や小学校が近くにある高台（海拔23m）へ移転。 総事業費約14億円（うち庁舎建設基金約9億円）。コミュニティセンターやコミュニティ公園との複合施設として整備。コミュニティセンター分については、事業費約3億円（うち防衛施設補助金1.6億円）。 昭和58年庁舎建設基金を設置、昭和63年庁舎建設委員会設置、平成元年庁舎建設委員発令（第1次）結果保留、平成13年庁舎建設委員発令（第2次）、平成14年基本構想決定、平成16年起工、平成18年落成。
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎建設についての検討は移転等で意見が分かれ平成元年に一旦棚上げになったが、喜界島近辺での地震多発などを受け平成13年に再会され、庁舎移転の運びとなった。</li> <li>・新庁舎には路線バスが1時間1本通っている。庁舎移転後8年になるが、新庁舎周辺に商店の開業はみられない。</li> <li>・旧庁舎跡地にはAコープが移転してきて営業している。</li> <li>・庁舎移転については、町民から特に強い反対はなかった。</li> <li>・商工会は移転そのものには反対ではなかったが、跡地にAコープが移転してくることは、周辺個人商店への影響を心配し、問題視していた。</li> <li>・現在、旧庁舎のあったAコープ周辺商店街はあまり活気がなく、むしろ空港前の県道沿いに飲食店や大型店舗の集積がみられる。</li> </ul>
所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎は立派すぎてうらやましい限りであった。</li> <li>・住宅地や商店街から離れた場所にあるためか、人の往来がまばらに感じられ少し寂しい感じがした。新庁舎は賑やかな庁舎であって欲しい。</li> <li>・将来の人口減少や災害等に対応できる庁舎にしなければならない。</li> <li>・住民への説明を密に行う必要がある。移転は必ず必要である。</li> <li>・庁舎を移転するなら、そこで働く職員や訪れる人々が安全で安心できる場所でなければならないと思う。</li> <li>・庁舎移転を行う場合には、場所の選定と必要財源の確保はもとより「跡地の有効活用」や「高齢者等のアクセス弱者に対する配慮」も重要である。</li> <li>・新庁舎建設後は、次の庁舎建設に向けて基金積立を継続すべきだ。</li> <li>・賑わいのある商店街には個人商店の繁盛が必要不可欠である。</li> </ul>

# 喜界町市街地図





喜界町役場 正面 海拔23m



喜界町役場 正面



庁舎東側 奥がコミュニティーセンター  
手前は駐車場



役場の西側に隣接している多目的広場



公用車駐車場



役場に隣接している多目的広場から市街地を遠望  
旧庁舎から500m程山手に新庁舎を建設



路線バス 1時間おきに役場前に停留



役場前にある中学校



窓口



玄関ホールの待合所



議会



書庫



# 喜界町新庁舎・コミュニティーセンター

落成のしおり



# 町民が「和と団結」を築く庁舎として

## 「新庁舎ができるまで」

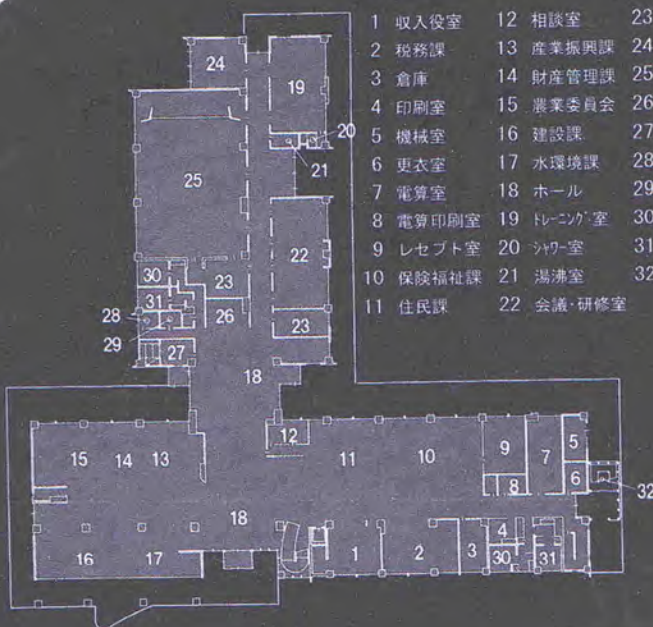


喜界町長  
加藤 啓雄

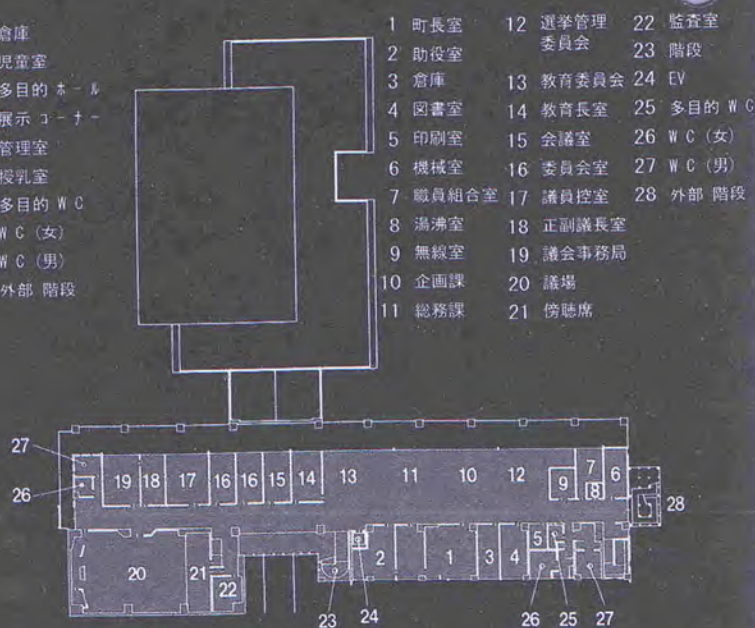
市街地を見わたせる高台に、町民待望の新庁舎ができあがりました。この新庁舎建設に至るまでの経緯は、昭和34年に建設されその後、行政需要の多様化により、増改築を重ねてきた旧庁舎が老朽、狭隘、分散化等により、町民に十分なサービス提供が難しくなってきた事と相まって、平成7年10月の奄美大島近海地震の際には、震度5の激しい揺れの影響を受け、庁舎内外の天井や外壁にひび割れや剥離が生じ危険な状況に至り、このままでは、自然災害時の防災拠点としての役割も十分果たせない事態になっていました。このため、新庁舎は単に行政事務の処理、町民サービスのみの機能だけでなく、高齢化や情報化社会にも対応出来る施設とし建設計画をしました。又、防衛庁の助成をいただき、町民が集うコミュニティセンターを併設し、機能的にも防災拠点としても有効活用が可能となりました。

それら背景の下、本町の地域性・個性を活かし、心豊かで活力に満ちた「うるおいのまち」の推進母体となりうる庁舎の完成をみましたが、ここに至る経緯と致しましては、平成元年に最初の庁舎建設委員会が発足して以来、18年間という長期の歳月を要しました。これもあらゆる角度から論議を重ねてきた結果であり、将来展望の開けるアイデアも各所に数多く取り入れてあります。もとよりここまでこぎつけるには、議会議員、庁舎建設委員、全国各地の郷友会員、地主、施工業者、町民全ての方々のご理解とご尽力があったればこそであります。心から厚く御礼申し上げます。

新庁舎並びにコミュニティセンターの完成によって、建物ばかりが目立って仕事の中身が伴わない事が無いよう、職員が一丸となって1島1町の「まちづくり」に精進致します。町民の皆様におかれましては、一層の叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。庁舎落成のご挨拶とさせていただきます。



1階 平面図



2階 平面図

## 「庁舎のコンセプト」

### 1. 町民のための施設～開放性・親近性

町民が気軽に立ち寄ることのできる行政の場、心れあうコミュニケーションの場、周囲の自然に調和しつつ町に潤いを与える存在、また、地域の象徴となり活性化を見いだせる施設としました。

### 2. 風土の景色の中で～地域性

先人の知恵や技術を通し、歴史に学び生命力や精神を受け継ぐため、海と緑に囲まれた景勝の地に、違和感なく溶け込む事が出来るような施設としました。

### 3. 永く利用される施設～安全性・耐久性

安全面から、バリアフリー工法を導入し、子供からお年寄りまで安心して利用出来ます。また、防災拠点という立場からも高い防火性、耐震性、耐風性に配慮した施設としました。

### 4. 効率的な行政活動を支える～機能性・快適性・居住性

町政の拠点として、また、町民の交流の場として快適な動線を持ち、断熱・日射遮蔽といった環境機能も取り入れる事で、  
● 員や来訪者が安心して利用できる利便性に富んだ施設としました。

### 5. 環境に優しいグリーン庁舎～環境共生

近年の地球規模の環境破壊は深刻であり、環境への負荷の低減対応など、町民の環境への意識を喚起させる、行政・コミュニティ施設としました。



ホール



町長室



1階受付カウンター



議場



会議・研修室



多目的ホール

## 概要

●住所	鹿児島県大島郡喜界町大字湾1746番地
●敷地面積	18,696㎡
●庁舎・コミュニティセンター棟	構造：プレキャスト鉄筋コンクリート造 床面積：3,626.29㎡
●車庫棟	構造：鉄骨・鉄筋コンクリート造 床面積：822㎡
●設計・監理	(株)武田建築事務所
●施工	庁舎棟：(株)峰山建設 コミュニティセンター棟：中村建設(有) 車庫棟：高岡建設(株) 電気工事：大福建設(株) 空調工事：(株)九電工 給排水・衛生工事：中央工業(株) コミュニティ公園工事：(株)比嘉建設 (株)日の出建設 外構工事：(株)八照建設 中村建設(有) (株)日の出建設 (有)橋建設 (有)サンヨー社 (株)峰山建設 (有)浜岡建設
●工事費	造成工事：891,403千円 建築工事：332,400千円 設備工事：123,900千円 外構工事：3,700千円 造成工事：50,005千円 コミュニティ公園工事：1,401,445千円 総工費：300,000千円 地方債：161,503千円 補助金：10,000千円 庁舎建設基金：929,942千円 合計：1,401,445千円
●財源内訳	



東側外観(駐車場より)



東側外観(前面道路より)



コミュニティ公園(あすまや)



コミュニティ公園

## 庁舎建設完成までの経過

昭和58年 3月	喜界町庁舎建設基金の設置
昭和63年 12月	喜界町役場庁舎建設委員会設置条例
平成 元年 1月	新庁舎建設プロジェクト準備委員会による基本構想資料作成
平成 元年 1月	喜界町新庁舎建設プロジェクトチーム設置要綱
平成 元年 1月	庁舎建設委員発令(第1次)結論保留
平成13年 5月	喜界町庁舎建設プロジェクトチーム委嘱発令
平成13年 9月	喜界町庁舎建設プロジェクトチーム基本構想案作成
平成13年 9月	庁舎建設委員発令(第2次) 第1回庁舎建設委員会
平成13年10月	庁舎建設プロジェクトチーム報告
平成13年11月	新庁舎を移転、建設することに決定 喜界第一中学校のとなりに建築地と決定 用地交渉に入ることを決定
平成14年 3月	新庁舎の建設方法等の協議
平成14年 8月	庁舎の設計方法として「指名型プロポーザル方式」に決定
平成14年12月	基本構想を決定する
平成15年 1月	庁舎建築設計審査運営業務委託契約締結(プロポーザル)
平成15年 8月	指名型プロポーザル審査結果決定
平成15年10月	喜界町新庁舎建築設計委託契約締結
平成15年11月	地質調査委託業務契約締結
平成16年11月	各建築・設備工事の契約締結を臨時会議で可決
平成16年11月	各建築・設備工事の契約締結及び工事現場監理委託業務契約締結
平成17年 8月	コミュニティ公園トイレ・四阿新築工事契約締結
平成17年10月	コミュニティ公園及び外構工事契約締結
平成17年11月	各建築・設備工事完成する。 (コミュニティ公園及び外構工事以外)
平成18年2月6日	新庁舎開庁式(業務開始)
平成18年 2月	すべての工事完了



## 新庁舎建設候補地エリアの検討

### 1 各エリアの選定（案）

各エリアの選定については、これまでの本委員会での意見、アンケート調査結果、原野及び雑種地の集積地などを考慮し、次の5つのエリアを選定しました。（別紙エリア図参照）

- A 現庁舎
- B 茶花市街地郊外（北側）
- C 砂美地来館周辺
- D 与論高校周辺
- E 中央公民館周辺

#### <参考>

#### アンケート調査

#### 問7 役場庁舎の設置（建設）場所について

1	現在地でよい	270件	31%
2	設置場所を変えたほうがよい	641件	69%

【理由】 現在地：利便性、茶花の衰退

変更：災害に対する備え。平等性

【場所】○ 砂美地来館、防災センターの辺り○ 福祉センター近く○ 消防署の近く○ 高校の近く○ 叶○ 中央公民館○ 中高を同じ場所にして、どちらかに役場 ○ 旧診療所○ 屋内多目的運動場を利用 ○ 新しく造るサッカー場の辺り ○ 高台 ○ 朝戸・城 ○ 島の中心 ○ バス路線沿い

### 2 評価指標の設定（案）

庁舎建設地としての各エリアの評価を行うため、評価指標を次のとおり設定しました。

（評価指標の重要度については検討を要する）

- 1 利便性：町民が新庁舎へ来庁する際の交通の利便性、茶花市街地で用事がある場合の利便性、他の公共施設との利便性、島外の人に対する利便性等
- 2 安全性：津波や地震等の防災面での安全性、道路交通の点からの安全性等
- 3 貢献性：街なみ形成、賑わい創出、地域活性化への貢献度等
- 4 将来性：将来的に今よりも利便性や貢献度が増す可能性があるか等
- 5 実現可能性：町民の理解が得られるか、用地取得の可能性はあるか、建設費用が現実的な規模であるか等

### 3 評価指標の判定（案）

評価指標の判定について、次に5段階を設定しました。

判定：5 大変良い、4 良い、3 普通、2 やや劣る、1 劣る

#### 4 各エリアの評価

判定：5 大変良い、4 良い、3 普通、2 やや劣る、1 劣る

エリア名		利便性	安全性	貢献性	将来性	実現可能性	計
A	現庁舎						
B	茶花市街地郊外 (北側)						
C	砂美地来館周辺						
D	与論高校周辺						
E	中央公民館周辺						

#### 5 これまでの検討会から見てきたこと

(1) 庁舎建設基金の積立が少なくとも後3～4年は必要である。

新庁舎建設費用として6～9億円が見込まれる。現在の庁舎建設基金残高は2.2億円で、起債可能額は2.5億円である。現状では、1.3～4.3億円の資金が不足している。これから毎年0.4～1億円の庁舎建設基金の積立が必要である。

(2) スケジュール

基金積立期間を考慮すると、平成27年度までに基本構想及び基本計画を策定し、平成28年度に実施設計や必要であれば用地購入を行い、平成29年度から本工事に着手するスケジュールが見込まれる。

(3) 新庁舎の建設場所の選定について

新庁舎の建設場所については、本町の将来のまちづくりに大きな影響を及ぼす施設であることをよく認識し、利便性や安全性など様々な角度から十分に検討を重ね、基本構想及び基本計画の総合的な仕上がりの中で最終的な結論を提言することが望ましいと思われる。



